

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



机の奥にあった電卓に久しぶりに触ってみる。最近見る1オンの電卓を使うのがもったいない。  
 小型電卓の開発で知られる元ヤマハの佐々木正さんが七十年前、百三歳。かつて電卓は高かった。  
 東京五輪の一九六四年、当時の早川電機現シヤンが発売した電卓は、自動車一台分の五十二万五円。重さは二キロ、若い人には想像もできない。六十年代から七十年代にかけての電卓戦争。その中で佐々木さんは技術価額競争に挑んだ。立ち止まらぬ人。たまたまという集積回路(IC)太陽電池液晶画面 新技術導入をためらわ



佐々木さんの判断力、同社が七年前発売した電卓は六十五グラム、価格は八千五百円まで下がった。



電卓戦争が開発された技術は、かたスマートフォン、タブレット、ゲーム機などいろいろな電卓は日本を支え電子産業の礎でありその人の功績の大きさを思う。

武田 信玄  
 の六女松姫  
 が未来を  
 開いた。



2021/11/08

